



2016 春季生活闘争ニュース

2016. 3. 1 第2号 発行責任者 連合北海道組織労働局

2016春闘！集中回答日に向けて交渉開始！

連合北海道は、2016春季生活闘争のヤマ場を3月16日に控え、2月26日（金）に経済5団体（北海道経済連合会・北海道商工会議所連合会・北海道商工会連合会・北海道経済同友会・北海道中小企業団体連合会）および北海道労働局と、2月29日（月）には北海道に対してそれぞれ要請行動を実施した。

■北海道経済5団体

26日（金）に行われた北海道経済5団体との労使懇談会で出村会長は、「昨年12月の共同宣言をもとに、お互い立場は違おうか知恵を出し合い労働環境を改善しなければならない。」と述べた上で、「昨年は、16年ぶりに2%程度の賃上げが実現でき一定の成果はあった。しかし、中小・未組織の企業においては、その効果は部分的であったため、今年も昨年同様（10,500円、時給では37円以上）の引き上げを求めていく。経済の好循環を果たすには消費拡大が大事だ。賃上げをもっと実現しないとイケない」と強調し、経済界に協力を要請した。



出村会長（左）と杉山事務局長

また、北海道の長時間労働について触れ、道内経済の発展、安定した雇用の場の創出など「働き方・労働環境の改善」といった共通課題の克服に向け、協働して取り組むことを求めた。

北海道経済連合会の大内会長は、「会社の発展と従業員の労働条件向上に向け、賃金だけではなく、生産を高めるための方策、安全対策、長時間労働の防止、働き方改革、女性活躍推進などについて、紳士な議論を尽くし労使にとって良い結果が導かれる事を期待する」と述べた。また、「賃金引上げに対しては、自社の支払い能力も考慮しなければならない。」との回答にとどまり、労使の隔たりが浮き彫りになった。このほか、連合北海道の添田副会長・畑山副会長より、産別の取り組み状況、経済5団体から春闘に臨む各団体の考え方が述べられた。



■北海道労働局

冒頭、出村会長は、新卒・若者の雇用対策や高校新卒者の内定率と離職率がともに高いことに触れ、連合北海道の就活応援セミナーの開催等を紹介しつつ、地域における安定した雇用の場が求められている現状や、雇用の質の改善等について要請した。

■北海道

連合北海道の杉山事務局長より要請を受けて辻副知事は、「雇用の場合、質・処遇・離職についてしっかりと対応することが大切」で、「自分の将来設計ができるような仕事を作ることをどうサポートするか。しっかりと担当課に対応させていく。」と述べた。



田中労働局長に要請書を
手渡す出村会長（右）



辻副知事に要請をする杉山
事務局長

2016 春季生活闘争・衆議院5区補選・第24回参議院選挙闘争勝利！

3. 2全道総決起集会

2016年3月2日(水) 18時～ 札幌市教育文化会館大ホール

すべての働く者の処遇改善！「底上げ・底支え」「格差是正」で経済の好循環実現！